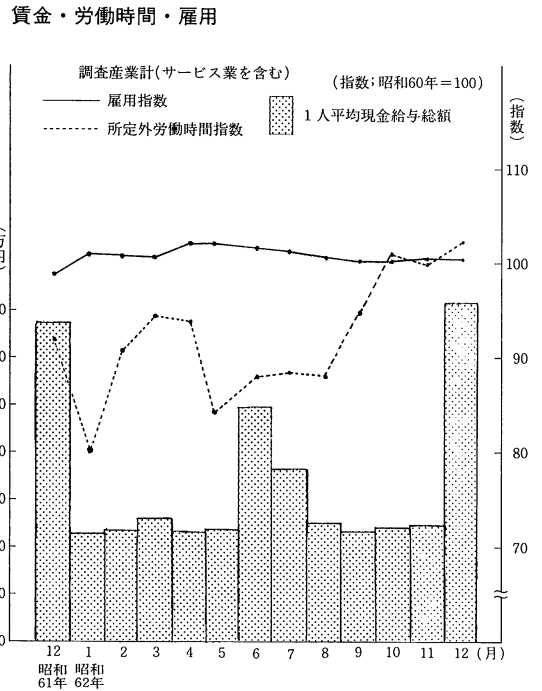
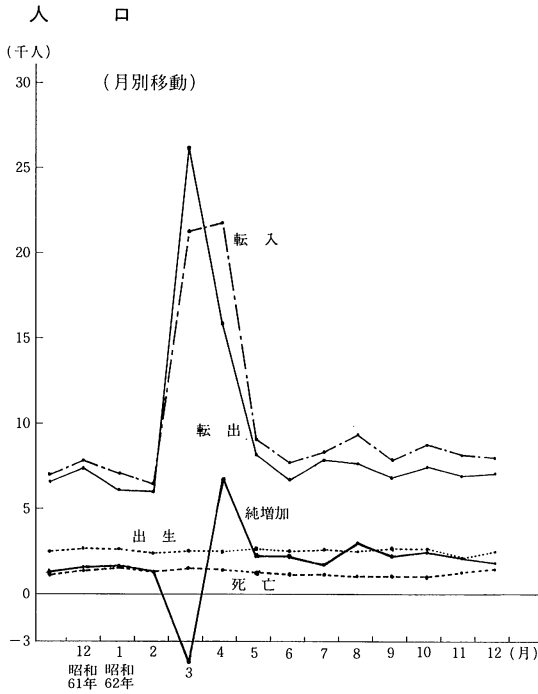
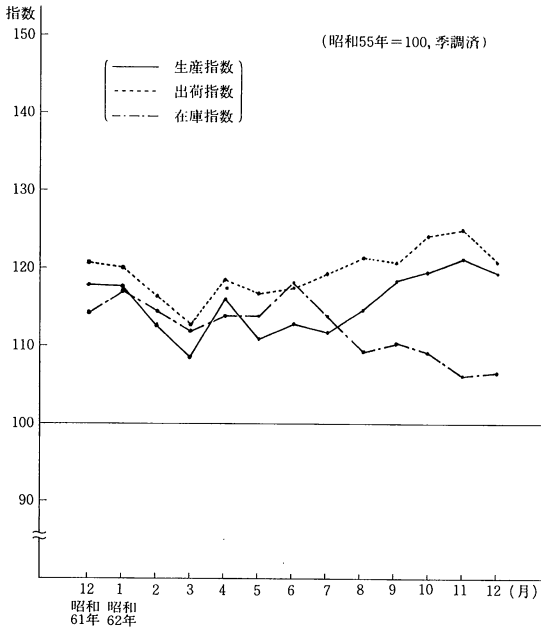


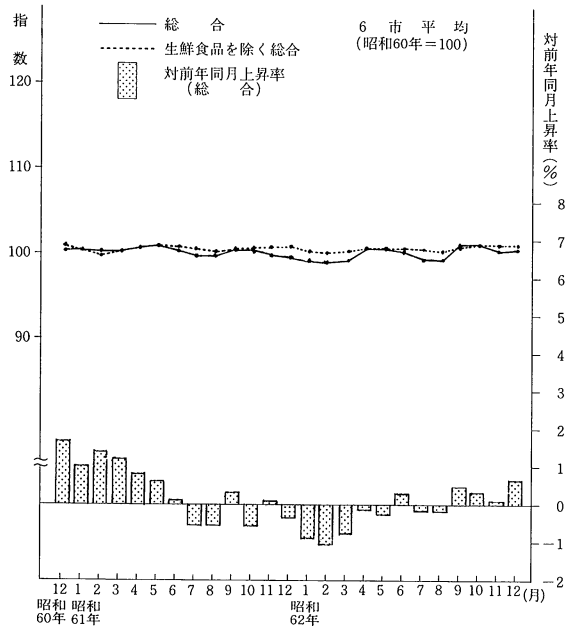
# 今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし ..... 企画部統計課

■ 人 口 (1月1日)

本県の人口は、12月中に1,966人増加し、1月1日現在で2,776,817人(男1,383,952人, 女1,392,865人)となった。

内訳は、自然動態で1,018人(出生2,602人, 死亡1,584人)、社会動態で948人(転入8,203人, 転出7,255人)、それぞれ増加した。

市町村別では、増加が17市41町村, 減少が3市28町村で

ある。

なお、62年中の人口増加は24,952人となり、増加率は0.91%で61年(0.78%)を0.13ポイントを上回っている。また、増加率が前年を上回るのは5年ぶりである。

世帯数についても、520世帯増加して、785,304世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (12月)

1. 平均賃金の推移

12月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は714,050円で前月に比べ188.3%増(前年同月比5.7%増)であった。

このうちきまって支給する給与は244,373円で前月に比べ0.5%増(前年同月比4.5%増)であり、特別に支払われた給与は469,677円で前年同月に比べ27,849円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は177.9時間で、前月に比べ1.3%減(前

年同月比0.5%増)であった。

このうち所定内労働時間数は159.2時間で、前月に比べ1.8%減(前年同月比0.6%減)であり、所定外労働時間数は18.7時間で、前月に比べ2.7%増(前年同月比11.3%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると100.4で、増減率は前月に比べ0.1%減、前年同月に比べ1.2%減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (12月)

本県における昭和62年12月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が119.6、出荷が121.0、在庫が106.9で前月比は、生産が△1.3%の低下、出荷が△3.2%の低下、在庫が0.4%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が1.6%の上昇、出荷が0.3%の上昇、在庫が△6.1%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、木材・木製品工業、化学工業、金属製品工業等が上昇し、輸送機械工業、電気機械工業、精密機械工業等が低下した。出荷では、木材・木製品工業、化学工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、

鉱業、輸送機械工業、鉄鋼業等が低下した。在庫では、鉱業、精密機械工業、一般機械工業等が上昇し、木材・木製品工業、食料品・たばこ工業、金属製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、建設財、その他用生産財、鉱工業用生産財が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財、資本財が低下した。出荷では、非耐久消費財、その他用生産財が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。在庫では、資本財、建設財等が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (12月)

昭和62年12月の茨城県消費者物価指数は、総合で100.5(昭和60年=100)となり、前月比0.2%の上昇、前年同月比0.6%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草9.3%、他の教養娯楽0.8%、魚介類0.5%、油脂・調味料0.3%、身の回り用品0.3%

今月下がった主な項目……果物△16.5%、教養娯楽耐久財△3.3%、シャツ・下着△0.5%、家庭用耐久財△0.5%、肉類△0.3%

生鮮食品を除く総合は101.1となり前月に比べ0.1%の上

昇、前年同月に比べ0.3%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	100.5	0.2	0.6	保健医療	103.0	0.0	1.0
食 料	98.5	0.3	0.3	交通通信	100.8	△0.1	1.4
住 居	105.9	0.0	2.8	教 育	110.1	0.0	5.3
光熱・水道	89.6	△0.1	△2.5	教養娯楽	101.3	0.4	0.3
家具・家事用品	99.0	△0.2	△0.7	諸 雑 費	103.0	0.1	0.3
被服及び履物	104.7	△0.3	△0.6	生鮮食品を除く総合	101.1	0.1	0.3